Season2

Episode 7: Insights in the 9100 Series

|  |  |
| --- | --- |
| Susan: | The Quality Horizonへようこそ。これは、IAQGがIAQGのために制作したポッドキャストです。 |
| Susan: | 皆さん、こんにちは。そしてようこそ。私は司会のスーザンマトソンです。今日はアランダニエルズとバディクラッチオーニも一緒です。 |
| Susan: | アランは、ボーイング社におけるグローバル品質マネジメントシステム規格の管理を担当しており、また、IACG規格管理委員会の議長、および9100チームの国際リーダーも務めています。バディは、9100チームの米国セクターリーダーであり、両名ともISO 9001を策定するISO国際委員会、TC 176のメンバーとして活躍しています。 皆さん、本番組へようこそ。 |
| Alan: | ありがとうございます。どうもありがとうございます。 |
| Susan: | ご参加いただきありがとうございます。さて、2023年はiAQGにとって大きな年でしたが、多くの人々が注目しているプロジェクトの1つが9100シリーズです。そこで、今日は皆さんのご協力のもと、リスナーの皆さんにこの分野の最新情報をお届けしたいと思います。それでは早速始めたいと思います。いかがでしょうか？ |
| Alan: | よし、いいですね。素晴らしい。 |
| Susan: | 完璧です。シリーズ全体がどのように機能しているかを必ずしも正確に把握していないリスナーのために、アラン、9100シリーズの概要とiAQGにおけるその機能について簡単に説明していただけますか？ |
| Alan: | ええ、お話しできますよ、スーザン。 9100は、もちろん、国際航空宇宙品質グループ（International Aerospace Quality Group、IQG）のフラッグシップですが、これに加えて、メンテナンス組織向けには9110、販売代理店組織向けには9120があります。 私たちは皆、ISO 9001をベースラインとして使用しています。 これは、実際には二重認証の目的で使用されています。サプライヤーが、例えばISO 9001とAS 9100の両方の認証を取得しようとする場合、AS 9100の要求事項はISO 9001の要求事項と類似しているため、両方の認証を取得しやすくなります。これが、当社が9110と9120のスキームに従っている理由です。メンテナンスと流通に関しては、9100がベースラインとして使用されています。つまり、航空宇宙および防衛産業全体にわたって、実際には非常に素晴らしい流れができているのです。そして、私たちは実際にそれらの要件をある程度整合させています。彼らには独自の要件があり、他の要件は持っていないかもしれません。いくつかの要件は取り除き、いくつかの要件は追加しているかもしれませんが、それがスキームの実際の仕組みです。しかし、9115というものもあります。これは実際にはソフトウェアであり、成果物としてのソフトウェア規格です。9100をソフトウェア環境に適用する方法について述べたものです。ソフトウェアは製品です。そして、9101というものもあります。これはシリーズの一部であり、実際には監査規格です。つまり、これらの規格を組み合わせることでシリーズが構成されているのです。 |
| Susan: | ありがとうございます。バディ、簡単に現状を教えていただけますか？これらの変更や改訂は、現在どの段階にあるのでしょうか？ |
| Buddy: | そうですね、ISO 9001もIEQG規格も5年間の見直し計画があります。そのため、2016年に発表した9100シリーズについては、その5年後の2021年に活動を開始しました。私たちは、例えば会員企業や規制当局など、主要な利害関係者に対する調査を、関係成長チームや他のIEQG規格を通じて実施しており、それによって、規格にどのような変更を加えるべきか、どこから着手すべきかに関する情報を得ることができました。ですから、私たちは忙しくしています。国際レベルだけでなく、部門レベルでもチームが結成されました。 嬉しいことに、会員企業から規制当局、小規模な不利な立場にある企業、認証機関、FAA、DCMA、NASAなど、さまざまな利害関係者から25名ほどのチームが結成されました。また、ヨーロッパやアジアの同僚たちも同じことをしています。ですから、私たちは大規模なチームを結成し、現在、調整草案を作成して今年の11月までに発行するという計画で作業を進めています。10月に開催されるIEQG会議でその草案を検討する予定です。 |
| Susan: | 11月には、カリフォルニア州サンフランシスコで、全員が一堂に会する会議が開催されます。アラン、これは9100の移行に関するものです。IAが付属するものとしては初期のもののひとつとなります。 単一のSDOの採用について、少しお話いただけますか？ |
| Buddy: | ええ、単一のSDOの採用について、少し背景を説明します。 以前は、私たちは分野別志向でした。 出版は、アメリカ大陸、ヨーロッパ、アジア、太平洋地域すべてで行われていました。そこから増殖し始めたのは、中国や韓国、インドなど、独自の9,100の標準を発行したいと考える他の団体があったからです。 非常に複雑な仕組みになり始めました。 それに伴い、各自が独自のルールやプロセスに従うようになりました。 長いものもあれば短いものもありました。 そうなると、それらすべてを調整して、すべてが同一であることを確認するにはどうすればよいのでしょうか？翻訳後もすべて同じ文言を使用することになります。管理面で悪夢のような状況になり、非常に困難な作業となります。 単一のSDOに一本化することで、多くの問題が解決され、標準規格を市場に迅速に投入できるようになるため、攻撃時間を大幅に短縮できます。 対応も迅速になります。 私たちは、すべての人がコメントを記録できる単一のシステムを使用しており、誰もがより多くの情報を入手できます。ワークフローのようなプログラムをチームが自分たちで使用できるという点だけでも多くの利点がありますが、それだけでなく、人々が実際に目を通し、必要な情報を入手できるという利点もあります。 それに関連して、非常に多くの利点があります。 |
| Buddy: | 付け加えると、IEQGは真の国際組織です。 ですから、国際的に発行するのは理にかなっています。ですから、私たちの組織構造や組織形態とも一致していると思います。また、過去には翻訳が懸念事項のひとつとなっていました。もちろん、主要な規格はすぐに翻訳されることもありますが、その他の規格やさまざまなグループの中には、迅速に翻訳されないものもあります。6か月以上かかる場合もあります。はい。そこで私たちは、翻訳を私たちのプロセスに組み込むことにしました。しかし、標準委員会レベルで承認されれば、翻訳プロセスに進みます。 そうすれば、世界中のさまざまな言語で同時にリリースすることができます。 |
| Susan: | 素晴らしいですね。 バディ、最初の質問で、アメリカ大陸における貴社の幅広いグループについて触れていたと思いますが、アラン、その点についてお話いただけますか？私は、バディのチームがアメリカ大陸でそうしているように、ヨーロッパやアジア太平洋地域でも同様に、さまざまな人々が協力し合い、9100の策定に貢献するチームを構成していると想定していますが、この点について明確にしておきたいのですが、いかがでしょうか？ |
| Alan: | ええ、そうですね。9100シリーズは独特なものです。私たちは、IQGのほとんどが、基本的に26の規格を発行し管理しています。その中で、9100は業界特有のチームを持つ唯一のものです。実際、私たちはレビュープロセスを実施し、より幅広い範囲で可視性を確保し、より多くの関係者と接触することで、より多くの会員企業や業界全体に働きかけ、フィードバックを得ています。9100チームがすべての決定を行うわけではないので、私たちは皆の意見に耳を傾け、それらを考慮し、文書化し、そして「どう思いますか？」と尋ねます。ですから、本当にそう考えれば、これは業界全体の共同作業なのです。そして、南北アメリカ、ヨーロッパ、アジア、太平洋の3つの地域をすべて合わせると、この作業に携わっているチームの総勢は50人を超え、おそらく80人にも達するでしょう。IQGの中核チームはわずか13人ですが、全体的な規模はそれよりもはるかに大きいのです。そして、調整ドラフトとして公開すると、もちろん、何千人もの人々が実際にコメントを寄せることになります。正確には何百という数ですが、OASISのデータベース全体を見ると、何千人にもなります。 |
| Alan: | ですから、業界による業界のための共同作業という側面が非常に強いのです。ISOでは、例えば気候変動に関する事項をISO 9001に導入し始めています。IA 9100にどのような影響があるのでしょうか？ |
| Alan: | 私は実際に、ISO 9001の改訂を計画するTG5の共同議長を務めていました。9100と同様に、私たちは2020年に5年間の見直しプロセスを開始しました。このポッドキャストを聞いている多くの人は、組織的な見直しが行われ、賛成派の少人数グループが36票、改訂に反対する32票で可決されたことを覚えているかもしれません。つまり、50%強の賛成票でISOの改訂は行われず、そのままの規格が承認されました。その後、TG5では規格改訂の他の理由を探し、設計仕様を行うための活動が行われました。そして、長話は省略しますが、この夏に調査が行われ、その結果に基づいて規格改訂を進めるという決定がなされました。ISOがすべてのマネジメント規格に導入しようとしている活動のひとつに、気候変動の概念の導入があります。ですから、ISOが何をしようとも、私たちはそれを規格に取り入れるつもりです。私たちのユーザーの多くは、認証として、あるいは少なくとも一部の顧客への対応としてISO 9001を求めています。ですから、私たちはISOに歩調を合わせており、ISOが9100の改訂を先行して行う場合は、私たちはその概念を取り入れるつもりです。 |
| Alan: | ええ、実際の要件は現在計画中のものの一つに過ぎず、組織の観点から気候変動を考慮することです。比較的穏やかなものですが、注目しているという点では重要なことです。しかし、これについてコメントしたいかもしれません。重要なことはたくさんあります。議論の一つは、なぜ気候変動なのか？気候変動よりも重要な問題がある。戦争や、その他にも重要な問題はたくさんある。しかし、なぜ気候変動なのか？もちろん、気候変動は重要であり、誰もが気候変動を重要視している。国連やEUでも議論されており、もちろんISOでも議論されている。彼らは、これらの問題の多くを、規格全体における優先事項として特に強調しています。そして、私たちは、業界全体に過剰な負担をかけないよう、影響を緩和し、全体を理解し、意味のあるものにするために、できる限りのことをしています。ですから、業界の動向に目を光らせ、監査が非常に難しくなり、コストが大幅に増大するようなことはしないようにしています。ええ、彼らはそれを理解しています。 |
| Alan: | IQGは、顧客への製品のオンタイムデリバリーに重点を置いています。その通りです。そして、私たちにとっては、私たちや私たちの監査人が環境監査人としての訓練を受けていないことが少し懸念材料です。アランが言及したように、4.1で導入され、4.2でも導入されると思います。大きな影響はないと思いますが、繰り返しになりますが、私たちのスキームは監査人によって認証されるものです。ですから、当社の監査人は気候変動の監査を行うよう訓練されているわけではありません。 |
| Alan: | そして、私たちの懸念は、それが前例となることです。しかし、私たちはそれを維持していくつもりです。それが、私たちがISOと連携している理由です。私たちは国際航空宇宙品質グループに所属しています。同グループはISOの技術委員会176と公式に連携しています。私たちがそこにいる理由は、業界へのあらゆる影響を緩和できることを確認するためです。 |
| Susan: | ありがとうございます。それでは、I-9100で異なる点についてお話しましょう。 |
| Alan: | そうですね、いくつか挙げますが、私にとって重要なのは、新しい標準規格ができたことです。実際、前回の改訂版を発行した時に開発中だったもので、それについてはまだあまり手がつけられていませんが、APQPイベント、製品品質計画へのより多くの関連付けや橋渡し、接続性を追加しています。これはIQGにとって非常に人気の高い標準となっており、多くの人々が推進し、使用し、駆け巡っています。ですから、私たちはそこにいくつかの関連性を追加し、より整合性を高めようとしています。要件を重複させたり、APQPに追加要件を加えたりするのではなく、基本的には非常識なことです。もし本当にこれらのことを行いたいのであれば、APQPは良い方法であり、人々を導くでしょう。もちろん、もうひとつはEASA（欧州航空安全庁）とFAA（連邦航空局）による製品安全で、いずれも安全マネジメントシステムに向かっています。前回の改訂では、製品安全を追加しました。今回の改訂では、それをさらに拡充しました。新しい概念を導入する際には、このようなことをよく行います。最初は非常に簡単に説明し、人々が圧倒されないようにします。そして、次の改訂では、その概念に慣れてきたところで、さらに詳しく説明します。製品安全については、まさにそのようなことをしました。バディ、いくつか試してみる？ |
| Buddy: | もちろんです。製品安全に関しては、以前はかなり厳しい内容の注釈がありましたが、偽造部品や偽造部品の回避についても同じことが言えます。これらは今では当然の主張であり、業界内でも懸念されています。前回の改訂では、第7.3項に倫理的な行動と倫理的な行動の重要性を盛り込みました。認識すべきことは、リーダーシップから始まり、またリーダーシップによって文化が確立されるということです。ISOは最近、文化に関する規格ISO 10010を発行しましたが、弊社ではリーダーシップに関する条項5.1.1に倫理と文化の両方の要件を追加しています。業界が明らかに重視している大きな分野のひとつは、顧客情報であれ、製品を輸送する時点であれ、改ざん防止を確実にすることです。そのため、情報セキュリティに関するいくつかの項目を追加しました。また、人によっては些細なことだと思うかもしれませんが、FOD防止も追加しました。851や854で要件が定められていることは知られていますが、十分に前面に押し出されているわけではありません。そこで、8.1項に、その活動の計画に関する追加要件を設けました。 |
| Susan: | ちなみにFATAとは、Foreign Object Debris（異物残骸）のことです。はい、ありがとうございます。ちょうどお聞きしようと思っていたところです。 |
| Buddy: | アラン、先を越されたよ。それで、あなたはいくつかのことについて話しましたね。そのうちの1つか2つについて戻りたいと思います。まず1つ目は、アラン、あなたはAPQPについて話しました。ISO 9,000にまだ明らかに準拠している、あるいは準拠する必要がある組織のための計画はありますか？すみません、言い方を変えます。IA 9100には準拠しているが、APQPは使用していない。そのような場合の計画はあるのでしょうか？ |
| Buddy: | APQP 9145 の認証パスを取得するという話は出ていますが、まだ計画段階です。 今後どうなるか見てみましょう。 しかし、実際にこの2つをリンクさせる計画はありません。 率直に言って、まだ議論もされていませんが、いずれ分かるでしょう。 業界が必要とし、望むことなら、もちろんその方向で進むでしょう。当社には、9102（最初の製品検査）など、非常に重要な規格が数多くあります。 当社のサプライヤーには、おそらく他のどの規格よりも多く流れている規格ですが、当社は9100と一緒にそれを課しているわけではありません。 組織がそれを採用するかどうか、またサプライヤーにそれを流すかどうかは、組織が選択することです。そして、今回発表された9145も、まだその領域にあると思います。 |
| Buddy: | 重要なのは、9145やその他の規格との橋渡しをすることです。 例を挙げましょう。私は食通なので、エンジンメーカーがICE AS13100に多くの要件を追加したのとは異なり、私たちが持っているのはどちらかというとバイキング形式のものです。IE9100やその他の規格があります。ですから、組織は、自社に重要なもの、自社にふさわしいものを選択することができます。 |
| Susan: | この点については、あなたも触れていたと思います。もう少し詳しく説明していただけますか？ブリッジや、ブリッジと製品安全についてお話されていましたが、安全マネジメントシステムについてもう少し詳しく説明していただけますか？ |
| Buddy: | 実は、それは、まあ、アランの専門分野です。アラン、では話を変えて、あなたにお伺いします。彼にお伺いします。 |
| Alan: | そうですね、はい、それは私が深く関わっている分野のひとつです。それは並行した道筋です。つまり、SMSの要件はそれ自体ユニークですが、同じプロセスを使用しています。そして、私はそれが人々が本当に覚えておかなければならないことの一つだと思います。 両者は同じ目標を掲げていますが、アウトプットは若干異なります。 9100自体に関しては、私たちは今日存在する製品安全条項にほぼ限定しようとしてきました。そして、先ほど申し上げたように、私たちはそれを拡大したのです。私たちはメモを取り、それを基本的に要件としました。それは依然として適切ですが、人々には選択肢があります。しかし、適切であれば、それを実行しなければなりません。以前は、メモに留意するだけで、考慮はしても、実際には何もする必要はありませんでした。ですから、私たちは安全マネジメントシステムに関して、ある意味で基準を引き上げたのです。しかし、システムであるため、プロセスを本当にカバーしています。ポリシーの策定など、当社の標準規格にすでに含まれているすべての要素をカバーしています。ですから、当社の標準規格にそれを複製したり、特別なことをする必要はありませんでした。なぜなら、すでに標準規格に含まれているからです。そして、それが最も良い説明方法だと思います。なぜなら、それらは並行して実行されますが、基本的に同じプロセスを利用しており、異なるアウトプットが得られるだけだからです。 |
| Alan: | ええ、SMSと品質管理システムとの相乗効果は素晴らしいと思います。もちろん、SMSは安全管理システム、民間航空により重点を置いたものですが、当社の利害関係者には、宇宙、軍事、防衛活動も含まれています。ですから、製品の安全性は、ある意味で適用可能だと考えています。当社の利害関係者すべてに適用できることが、当社の要件のひとつです。ですから、製品の安全性の側面に焦点を絞り始めたのです。ええ、なぜなら... |
| Alan: | 宇宙にも適用されるからです。 ロケットが爆発して破片が雨のように降ってくるような事態は、もちろん避けなければなりません。都市や町にです。防衛も同様です。戦闘機を操縦する人々もいます。ですから、安全性が最優先されます。 |
| Susan: | はい、その通りです。安全性と同様に、セキュリティも重要です。IA 9100では、情報セキュリティに対処する計画はありますか？ |
| Alan: | はい、新しい分野のひとつです。前回の規格改訂では、情報セキュリティ対策に関するいくつかの要件を第753条に追加しましたが、十分ではありませんでした。そこで、新しい条項を導入することにしました。情報セキュリティに関する条項は717条になると思います。現時点ではかなり大まかなものですが、ベースラインを設定するものになると思います。情報セキュリティに関しては、ISO規格や規制など、多くの優れた情報が存在します。私たちがIE9100を情報セキュリティ規格にしたくなかったのは、いわばそういうわけです。ですから、私たちは再び、それらの要件に橋を架けるようなことをしたのです。 |
| Alan: | ええ、ここで重要なのは、9100が開発された当時、そしてISO 9001でさえもそうですが、それらはすべて紙ベースのプロセス、つまりすべて紙ベースでした。しかし現在はすべてが電子化されています。すべてがサイバー化されているのです。では、それをどう保護するのでしょうか？ 情報セキュリティは当社の品質管理システムに限定されています。その点については非常に明確でした。ですから、サプライヤーと品質情報を共有する場合、あるいはサプライヤーが当社に情報を提供する場合、それらの連携が安全であることを確認しています。ええ、他の規格にも触れていますが、必要な結果を得るためにそれらを利用しています。しかし、私たちは品質マネジメントシステム規格が確実に守られることに重点を置いており、そのために他の規格を活用しています。 |
| Susan: | 素晴らしい。私が触れたいことのひとつは、お二人ともこの分野に精通していると思いますが、AIMと組織がAIMをどのように活用できるかということです。バディから始めようと思っていたのですが、アリーが最後に取り上げるつもりですね。それではまずバディから始めて、AIMの役割について、おそらくIA 9100ではさらに重要になると思われる点について、少し詳しく説明しましょう。 |
| Buddy: | はい、ありがとうございます。Aimは、IQGが成熟度ベースで発行したツールです。これは9100の期待される成果に基づいています。ですから、品質管理システムに関しては非常に整合性がありますし、特定のプロセスに適用することもできます。例えば、設計や開発の成熟度や能力を向上させようとしている場合、Aimツール内でその特定のプロセスを評価することができます。また、複数のプロセスや品質管理システム全体を対象にすることも可能です。非常に優れたツールです。Aimに関して、チームが成し遂げたことを誇らしく思います。私たちは当初、エクセルのスプレッドシートのようなものから始めましたが、今ではIQG.orgで利用できる非常にスムーズなオンライン版が利用できるようになりました。そして、私たちが現在試みていることのひとつは、残念ながら、多くの組織がそうであるように、今日ここにお集まりの皆さまには当てはまらないと思いますが、移行を行う際に、システムを改善しようと考える組織があるということです。私は、これらの新しい要件を満たさなければなりません。確かに、改訂を行わない場合、改善の精神はありません。もちろん、継続的改善の条項はありますが、多くの場合、それは特定の側面のみに適用されます。品質マネジメントシステムの有効性をよりグローバルに見るのではなく。現時点で追加したことのひとつは、10.3項の継続的改善です。組織は品質マネジメントシステムの成熟度を評価し、今後どのように改善していくかについての改善計画を策定すべきであるという注釈を付け加えました。 |
| Alan: | ええ、そして、バディもご存知の最新情報ですが、AIMは次の改訂版をまもなく発表する予定です。アップグレードされました。アップグレードにより、複数のユーザーが組織内で評価を行うことができるようになりました。以前は一度に1つの評価しかできませんでしたが、現在はそれらをまとめて管理することができます。まもなく発表される予定です。完成したばかりです。最終的な準備がまだ残っていますが、スーザンに実際にそのことについて少しお話してもらうつもりです。ですから、この質問は本当に良いタイミングです。AIMについて少し歴史を振り返ってみましょう。これは9100チームが作成しています。これは独立したサブチームであり、9100規格内のシェルステートメントの各項目に基づいています。ですから、すべてが網羅されています。バディが言ったように、問題やトラブルを抱えている特定の分野を改善する、あるいは、一週間かけてすべての分野を改善する、どのレベルを選ぶかはあなた次第です。私たちはレベル2にいますが、おそらく認証を取得するには最低限必要なレベルでしょう。おそらくレベル3の方がより安全です。レベル4は、品質管理システムに関してリスクを本当に軽減し始めるレベルです。私たちは、人々をそのレベルにまで引き上げることを本当に奨励しています。そして、私たちはAIMを開発しました。しかし、多くの人はこのことを知りません。なぜなら、これはCEOや多くの人々からの「私たちは、望むような価値を品質管理システムから引き出せていない」という声に応える形で開発されたものだからです。そこで私たちは、文字通り彼らの言い訳を取り除き、では、どうすればこの問題に対処できるのか？ 品質管理システムの改善に役立つものをどのように提供すれば、目に見える結果、つまり品質の目に見える改善が得られるのか？ これがその方法のひとつです。 |
| Buddy: | バージョン1.1についてもう少し詳しく説明します。これはユーザーからのフィードバックに基づいていますが、要求事項も追加しています。ISO 10,000シリーズ規格にも対応しました。 それから、私が本当に興奮しているのは、私たちはIEQGサプライチェーン管理チームと提携し、サプライチェーン管理のトピックに何百ものリンクを張っていることです。 ですから、もう一度言いますが、多くの人はIEQGのことを9100だけをやっていると思っているのです。いいえ、それは貴社のシステム全体に関わるものです。 私たちは、あらゆる改善規格を揃えています。 ベストプラクティスに関するSEMH規格もあります。 成熟度を評価する方法に関するAIM規格もあります。 つまり、私たちはフルサービスの組織を目指しているのです。 |
| Buddy: | それは本当に良い指摘ですね。なぜなら、貴社は実際にサプライチェーン管理ハンドブックにアクセスして、それらの分野における改善の次のレベルに到達する方法を把握することができるからです。 |
| Susan: | 本当にフルセットのサービスですね、ガイさん？ |
| Alan: | はい、その通りです。 |
| Alan: | 11月には多くのことが起こり、多くの動きがあります。私たちは、人々に何が見られるかをお知らせするために、いくつかの事柄に触れました。私たちがリスナーにお伝えしたいことについて、他に何か見落としていることはありますか？ |
| Alan: | 私は、9100に対する人々の意見やコメントを求めます。そして、誰もが少なくとも満足できるような国際規格または業界標準にしたいと考えています。詳細のレベルに関しては、誰もが望むものとは異なるかもしれませんが、航空、宇宙、防衛の品質管理システムに関しては、常に次のレベルを目指して改善を続けており、かなりの進歩を遂げていると思います。 |
| Alan: | はい。そして、先ほど申し上げたように、11月頃に調整草案を発表する予定です。2023年11月です。その際に、いただいたコメントも検討します。コメントをお寄せいただき、チームでそれらを検討することを楽しみにしています。途中段階として、おそらく2024年6月頃に投票用バージョンを公開する予定です。その後の進捗次第では、2024年末または2025年にかけてリリースできるかもしれません。ウェブセミナーやポッドキャストなど、多くのコミュニケーションイベントを計画しています。ポッドキャストは、標準記事に関する最新の話題について語るのに最適だと思います。これらの活動への参加とiacg.orgホームページへのアクセスをぜひお楽しみください。 |
| Alan: | もちろんです。しかし、SCMHやAIM（航空宇宙改善成熟度モデル）など、その他のさまざまな情報についてより詳しく知りたい方は、iaqg.orgのホームページをご覧ください。トップページからSCMHをクリックするか、scmh.iaqg.orgにアクセスしてください。ホームページの一番上にあるAIMに直接アクセスすることもできますし、aime.iaqg.orgにアクセスして、さまざまな資料をご覧いただくこともできます。もうひとつ、公開された規格の下に9100規格自体に関するセクションが設けられています。また、ニュースエリア、イベント、Quality Horizonポッドキャストのチャンネル、LinkedInでも、多くの情報が発信されると思います。すべてカバーできたと思いますよね？ |
| Alan: | ええ。そして、実際に行われた全体的な変更を要約した主要な変更点のプレゼンテーションを、仲間たちがまとめてくれました。そして、それも利用できるようにするつもりです。これが9100への簡単な道、9100へのイージーボタンです。 |
| Alan: | 9100への簡単なボタンです。9100の公開ページの認証セクションに掲載されます。さて、皆さん、本日の対談はこれで終わりにしたいと思います。お二人とも、どうもありがとうございました。いつも楽しいです。 |
| Alan: | ありがとうございます、スーザン。ありがとうございます。 |
| Susan: | はい、リスナーの皆様は、9100シリーズや改訂状況、そして近い将来に予定されているすべての更新について、少しは理解を深めていただけたと思います。ありがとうございました。以上、スーザン・マッツソンがお送りしました。iAQG Quality Horizonをお聞きいただきありがとうございました。それではまた次回まで、ご安全に。 |
| Susan: | 国際航空宇宙品質グループがお送りするQuality Horizonをお聞きいただきありがとうございました。 |